

自分の力で未来を考える
—目標を持った生活をするために—

公益社団法人経済同友会
幹事 林 明夫

Q 1 : 自己紹介を兼ねて、学生時代に好きだったことばを紹介してください

- A : (1)「小学 4 年生になったら新聞を毎日読もう」
(2)「練習で泣いて試合で笑え」
(3)「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)
(4)「There is no royal road to learning.」(学問に王道なし)
(5)「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組もう)

Q 2 : 林さんは、今どのような仕事や活動をしていますか

- A : (1)開倫塾 塾長 [サービス業]
(2)学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市) [高校]
(3)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授 [大学・大学院]
(4)マニー株式会社(手術用縫合針製造) 顧問、社外取締役(2004 ~ 2010 年)
(本社:宇都宮市。現地法人:ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン) [製造業]
(5)社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム 清明苑 監事(足利市) [介護サービス]
(6)開倫ユネスコ協会 会長 [NGO 活動]
(7)CRT 栃木放送「開倫塾の時間—林明夫の歩きながら考える—」毎週土曜日 9:15 ~ 9:25
担当、この 3 月 5 日(土)で 30 年目に入りました [広報活動]

Q 3 : 高校時代の経験で今でも活かされていることはありますか

- A : (1)栃木県立足利高等学校普通科に進学した理由
(2)高校での生活
①柔道部
②英語部
③生徒会活動
④友達
(3)普段の勉強
(4)受験勉強

Q 4 : 高校時代にこんなことを考えて実行しておく、将来役立つということはありませんか

A : (1) スポーツや芸術に親しむ—生かして行える基礎をつくる

* 練習は不可能を可能にする

(2) 日本や世界の古典に親しむ

* 古典の著者と時空を超えた対話をしよう

(3) 時々小さな旅行を…できれば海外にも出掛けよう

* 見聞を広めよう

(4) 図書室、図書館の利用の仕方を身に着けよう

* 毎日 1 回は学校の図書室に行こう、毎週 1 回は市の図書館に行こう

(5) 「5S(ごえす)」を身に着けよう

① 「整理」(seiri) …不要なものは捨てる

② 「清掃」(seisou) …きれいに掃除をする

③ 「整頓」(seiton) …ものは決まったところに置く

④ 「清潔」(seiketsu) …①～③を保つ

⑤ 「躰」(shitsuke) …自分から進んで行く

(6) 別の意味での「躰」を身に着け、高校生は美しく生きよう

① 美しい立居振舞い(たちいふるまい)—服装は大切

② 敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)—「です、ます」で話せること。乱暴な言葉は用いないこと



Q 5 : 高校生としての効果の上がる家庭学習の方法とは何ですか

A : (1) 「理解」(うんなるほどとよくわかること)

① よくわからないことがあったら、気持ちが悪いと思い、「辞書を用いて学ぶ」こと

* 「辞書」で調べたことばの意味は、ノートに書き写し、その場で覚える

② 授業のノートを整理すること

* 「授業中」に必要なことは「ノート」に取る

—授業中に必要なことについて「ノート」が取れるのは「能力」

③ 予習とは、何がよくわからないのかをはっきりさせて授業に臨むために行うもの

(2) 「定着(ていちゃく)」(授業や家庭学習で「理解」したことを「身に着ける」こと)

① 「音読練習」

* スラスラとよく読めるようになるまで大きな声を出して読む

大切なことは、音読しながら正確に覚える

② 「書き取り練習」

* 「楷書(かいしょ、教科書の書体)」で正確に書けるまでにする

* 英語のスペリング(綴り字)も書いて覚える。(自分の名前だけでも筆記体で書く練習を)

③ 「計算・問題練習」

* なぜそのような答えになるかがよく「理解」できたら、計算や問題を見た瞬間にパッパッパッと条件反射で正解が出るまで、何回も解いてみる

「定着のための 3 大練習」は、高校での成績アップや入学試験、就職試験、資格試験の合格に直結する

(3)「応用」(「理解」、「定着」したことを役立てることができること)

①試験でよい成績をとることができる

*過去に出題された問題(過去問)を5～6年分、5～6回やり直す

*「間違いノート」「まとめノート」を作成する

②学校や仕事、社会的活動、日々の生活で役立てることができる

*すべての教科は社会に出てから役立つので、中学校や高校の教科書、教材、ノートは捨てないでとっておく

Q6 : これからの社会はどのような社会ですか。そこで求められる能力とはどのような能力ですか

A : (1)「知識基盤社会」、知識が基盤となった社会です

①「知識・情報・技術を用いる能力」が求められます

②コンピュータ(ワード・エクセル)は必須です

(2)「グローバル化社会」、グローバル化した社会です

①「多様な集団で交流する能力」が求められます

②英語(「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」の4技能)によるコミュニケーション能力を

(3)「課題山積社会」、課題が山のように高く積もっている社会です

・「自律的に活動する能力」が求められます



Q7 : それらの能力を身に着けるにはどうしたらよいのですか

A : (1)「読書による思慮深さ」を身に着けること

・「書き抜き読書ノート」を

(2)「新聞を読み、自分で考える力、批判的思考(クリティカル・シンキング)能力」を身に着けること

・「スクラップブック」を

(3)「学び方を学ぶ能力」を身に着け、それを実際に使うこと

・「効果の上がる学習の方法」とは何かを考え、よいと思ったら、失敗を恐れずにどんどんやってみること



Q8 : 最後に一言どうぞ

A : (1)自分のよさ、家族のよさ、友達のよさ、学校のよさ、多摩市のよさ、東京のよさ、日本のよさ、アジアのよさなど、よいところを探し出し、ことばに出して表現して認め合い、どんどん伸ばそう

—自分や他人をあまり攻めないこと、みんな仲良く—

(2)「健康第一」一心の健康、身体を大切に—

(3)「一生勉強、一生青春」(足利市出身の書家、相田みつを先生のことば)

*中学校や高校での勉強を基礎に、一生勉強し続けよう

感謝

御清聴ありがとうございました。質問があったら、どんどんしてくださいね。